

第58回「大阪市市民表彰」

公益の増進、産業の振興、学術、文化の向上発展などに貢献し、顕著な功績のあった方などを表彰するものです。今回は区政功労で高橋昭二様、産業経済・消費生活功労で西村秀春様、教育功労で上田裕彦様が市長から表彰されました。おめでとうございます。

問合せ：総務課

☎ 6930-9625 FAX 050-3535-8684



高橋 昭二様

西村 秀春様

上田 裕彦様



中学生の「税についての作文」で城東区長賞を受賞されました

全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が主催する中学生の「税についての作文」において全国の中学校から応募された作文の中から、菫中学校小澤育美様が「城東区長賞」を受賞されました。おめでとうございます。

問合せ：城東税務署(管理運営部門) ☎ 6932-1271(代表)

地域活動協議会だより

『情報発信中!!』地域活動協議会の広報活動

各地域活動協議会の広報ボランティアの方が、お祭りやスポーツイベント、防災や防犯キャンペーンなどさまざまな取組みを広報誌やSNSで情報発信しています。少しでも安心・安全で、住みよい暮らしができるよう、行事だけでなく、ごみの日やクリーン作戦など日常生活に欠かせない情報も掲載しています。



区役所1階広報誌ラック

問合せ：城東区まちづくりセンター
(放出西1-9-7 放出西会館内)
☎ 6167-9900 FAX 6167-9901



広報誌『城東区まちセンジャーナル』を区役所1階広報誌ラックにて配布中です!!
ぜひ手にとってご覧ください。

各地活協の
SNSやホーム
ページはこちら▶



まちづくりセンターでは、その情報発信を支援するため区役所1階に広報誌ラックを設け、皆さんに地域の広報誌を手にとっていただけるようにしています。また、まちづくりセンターのホームページやSNSに地域の情報を掲出し、リンクも付けています。この記事の二次元コードを読み取り、ぜひ皆さんもご活用ください。



SDGs推進チームからのお知らせ

令和4年10月下旬から使い捨てコンタクトレンズの空きケースとペットボトルキャップの回収をしています。皆さんのご協力により、使い捨てコンタクトレンズの空きケース48.05kg、ペットボトルキャップ649.4kgが集まりました。(令和5年12月28日現在)

使い捨てコンタクトレンズの空きケース回収ボックスは区役所1階(北側出入口自動扉横)に、ペットボトルキャップの回収ボックスは区役所1階(北側・南側出入口自動扉横)、区役所2階(自動販売機横)に設置しています。引き続きご協力をお願いします。

ゴール

ここまで来たよ!

夢洲

阿波座

森ノ宮

緑橋

蒲生四丁目



大阪・関西万博会場に向けて
中央線から延伸する
夢洲駅まであと6駅



城東区×SDGs



ペットボトルキャップの回収

回収はペットボトルのキャップのみです。必ず、きれいに洗って乾かした状態でお持ちください。※調味料・洗剤などのキャップ。ビンや缶のキャップは回収できません。



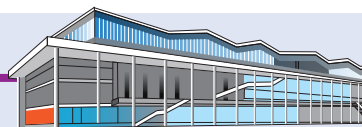
コンタクトレンズのケース回収

使い捨てコンタクトレンズの空きケースを回収します。※アルミシールは完全にはがし、空ケースのみにしてください。



集めたペットボトルキャップを並べて距離に換算すると 約28万個=約8km

区役所から万博会場へ向けてペットボトルキャップを並べてみた場合
区役所から緑橋を経由して中央線阿波座まで到達したよ!



スタート
城東区役所

問合せ：総務課(総合企画) ☎ 6930-9683 FAX 050-3535-8684

吉村区長の城東見聞録



城東区×SDGs



かつては町ごとに一つはあったという銭湯。現在、城東区には11軒の銭湯があります。今回は、“昭和”、“平成”、“令和”の情緒を感じさせる銭湯をご紹介します。

菊水温泉(中浜1-3-6)

のれんをくぐると、今はあまり見る事のない番台、脱衣所にはヒノキの一枚板で作られた脱衣箱。まさに昭和レトロといった歴史を感じる空間が広がっており、この風景だけでも一見の価値があります。開業当初からある番台や脱衣箱は、深い色合いと光沢が美しく、これまで大事に手入れされてきたことが伝わってきます。



▲日の光を受けて輝く脱衣箱



▲歴史を感じる番台

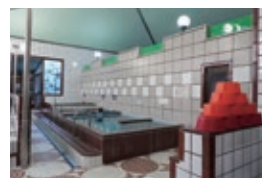
現在は薪を運んでくださるボランティアさんの手を借りながら、堂口龍蔵さん、松代さんご夫婦で営んでおられます。「地域の人々のため、続けられる限りがんばりたい。大きな浴槽で体の芯まで温まってもらえたら。」とおっしゃられたことが印象的でした。

しきしま温泉(放出西2-7-15)

道路に面する大きな窓から燦爛と陽が降りそそぐ広い休憩スペースには、ソファや観葉植物が設置され、地域の方のコミュニケーションの場ともなっています。平成の銭湯の特徴であるフロントが中央にあり、リニューアルを経てお風呂の種類も増えたそうです。



▲フロント前にある観葉植物たち



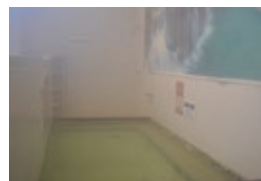
▲6種類の浴槽

三代目の千田正彦さんからは、「気持ちよくお風呂に入ってもらえるよう、季節や気温でお風呂の温度を調整しています。」とこだわりを教えてくださいました。

また、季節湯のほか、11月26日(いい風呂の日)と2月6日(風呂の日)にはりんごやボンタンなどのユニークな湯を提供されています。

ユートピア白玉温泉(蒲生2-7-36)

令和4年8月に大規模改修され、倉庫だったスペースにコワーキングスペースが誕生しました。休憩用のフリースペースや、パソコン作業ができるデスクが設置され、テレワークができる個室ブースや会議室もあるなど、新しい銭湯の形といえます。



▲新たに導入された高濃度炭酸泉



▲コワーキングスペース

二代目の北出守さんにお話を伺ったところ、当時のコロナ禍の影響もあって、「お風呂だけではない、プラスαを提供したい」という思いから、これらの空間が誕生したそうです。

また現在でも薪で湯を沸かすことができ、災害時には電気やガスに頼らない銭湯としての役割を果たしたいとの思いを語られました。

寒い日が続くこの季節、
銭湯に訪れて
みませんか。

区ホームページ
城東区内の銭湯▶

